

渋滞問題のスピーディーな解決を！



末吉 利啓 議員

あしかがフラワーパーク周辺の渋滞問題を解決するためには、交差点の改良やパークアンドライド、まちなか駐車場の活用、旅行商品開発など、さまざまな対策を複合的かつスピーディーに進めるべきと考えるがどうか。

市長 渋滞対策の一つの重要な柱が、パークアンド・バスライド

になると思っている。来春の新駅開業まで時間もないため、スピーディーにやれることを、きちんとやった上で、少しでも新駅の効果が地元の人たちに実感していただけるような対応を心がけたい。



◆景観行政

景観重点地区の指定に当たっては、その具体的なルールとなる「景観形成ガイドライン」の制定も必要となるが、考えを聞きたい。

都市建設部長

平成29年度中は景観重点地区の指定区域、規制や誘導による景観形成の方針など、具体的事項の検討を進めている。平成30年度以降に景観形成ガイドラインの制定についても検討していきたいと考えている。

ひきこもり支援策について問う！



金子 裕美 議員

国が示すひきこもりサポーター派遣事業では、養成講座の受講名簿をもとに、サポーターを選出し、自治体独自に派遣事業を実施すべきとしている。本市でも早急に事業実施要綱を策定すべきと考えるがどうか。

健康福祉部長

民間の方をサポーターとして派遣する場合、派遣時の交通事故やプライバシーへの配慮など課題がある。当面はサポーターとなつている本市職員を公務として派遣し、今後派遣要請が増加するような場合には、他市町の状況を踏まえながら検討していきたい。

◆教育目標の見直し

策定時との時代背景などの変化を踏まえ、近い将来新たな教育目標の策定も必要と考えるが、今の目標に欠けている子供を見守る、支えるという視点については、今回の見直しでどのように考えているのか。

教育長

現状にそぐわないところを改めようと、現在見直しに取り組んでいる。御指摘いただいた点については、保育の指針を参考にしながら、保育関係の方々等にも御意見を伺いたいと思う。



▲現在の教育目標

基金を取り崩し 国民健康保険税の引き下げを！



尾関 栄子 議員

国民健康保険加入者の貧困化が進んでいる。黒字会計により積み立てた27億円もある基金を取り崩し、今すぐ国保税の引き下げを行い、市民の立場に立った国保運営を行うべきではないか。

市長

基金は条例で保険給付急増への手当てなど、不測の事態に対応するための財源と定められている。一方、今回の広域化に伴い県への納付金という新しい制度となるため、基金の活用範囲の拡大も検討しているところである。



▲国民健康保険制度に関するリーフレット

◆小俣処分場問題

小俣処分場の裁判において、市長は訴訟に至る前の市の対応が不十分であった旨の意見陳述を行い、地権者から和解協議に応じる回答を得た。この姿勢を賞き、一日も早く埋め立て処分できるような積極的に対応すべきではないか。

生活環境部長

和解協議を通じて一日も早く埋め立てできればと思うが、何よりこの問題の解決に当たっては同処分場の用地を市が取得しなければ、また問題の種になることが危惧されるため、用地の取得を第一に和解協議に臨みたい。